

犬や猫を飼うときの約束

最後まで責任をもって飼いましょう。

家族の同意が必要です

- 家族全員がしつけや世話に協力してくれますか？
- アレルギーの人はいませんか？
- 結婚・出産しても飼えますか？

一緒に住める住居が必要です

- 犬や猫を飼える家ですか？
- 引っ越しで手放すことになりませんか？

覚悟が必要です

- 時間と労力が必要です。
- お金がかかります。
- 近所とのトラブルがあるかもしれません。

迷子札など『飼い主の氏名』と『連絡先』が分かるものをつけましょう。

鑑札・注射済票の装着は、狂犬病予防法で定められた**飼い主の義務**です！
災害時に逃げてしまった時にも役立ちます。



迷子札



鑑札



注射済票



マイクロチップ



迷子になるのはこんなとき



- カミナリや花火の音に驚いて逃げる
- 首輪や鎖、リードの留め具などが壊れて逃げる
- 発情期に異性を追いかけて逃げる



- 部屋の窓が開いて外に出る
- 強い猫にいじめられて帰れなくなる
- 発情期に異性を探して帰れなくなる

室内飼いで不妊去勢手術をしましょう。

増やさないために

犬や猫は、生後半年くらいで繁殖できるようになり、一度にだいたい4頭以上の赤ちゃんを1年に2回以上産むことができます。
猫は、1年で1頭が20頭になることも！

ペットのために

- 生殖器の病気になるリスクが減ります。
- 欲求不満によるストレスが軽くなります。
- いろいろなリスクが減ることで寿命が延びます。

問題行動を減らすために

- 発情期特有の困った行動(大きな鳴き声・ケンカ)がなくなります。
- オスの攻撃性が減り、しつけがしやすくなります。



犬を飼うときのルール

① 放し飼いはしない

- 咬みつき事故や飛び出し事故の心配
- 散歩のときもリードは外さない
- 犬を制御できる人がしっかり持つ

④ 近所の人にも気を配る

- 鳴き声や臭いなどで迷惑にならないようにしましょう。

② 市町村に登録し、狂犬病の予防注射を受けましょう。

- 犬を飼うときは市町村への登録手续が必要です。
- 年1回の狂犬病予防注射は飼い主の義務です。

③ きちんと健康管理

- フィラリア予防
- 病気になるためのワクチン注射
- ノミダニ対策などが必要です。



一緒に過ごす時間が大切です。できるだけ室内で飼ってね。

⑤ 適正なしつけをする

- 「待て」ができるようにしましょう。
- 災害時に避難する際も周囲の迷惑にならないと助かります。

猫を飼うときのルール

① 完全室内飼育をしましょう

外へ出かけている間、ご近所で庭を荒らしたり、排泄したり、ゴミをあさったり迷惑な存在になっているかもしれませんし、危険な目に遭っているかもしれません。

② きちんと健康管理

- 病気になるためのワクチン注射
- ノミダニ対策などが必要です。

外で猫にエサをあげている方へ

- 不妊去勢手術をしましょう。
- 決まった猫にだけ、決まった時間にだけあげましょう。
- 置きエサ禁止。食べ終わったら片付けて清掃しましょう。
- フンの掃除もしましょう。
- 近所の人たちの理解が必要です。



エサが置きゃ放しだと他の猫が来ちゃうよ